

科目名	社会福祉演習Ⅲ P					単位	2.0
担当教員	渡邊 幸良						
授業形態	演習	開講期間	前期	配当年次	4	授業番号	3254

●授業のテーマ

社会福祉の本質を理解するとともに、各自の研究テーマを設定する

●到達目標

社会福祉の原典資料から社会福祉の本質を理解する。そして、各自の研究テーマという具体的な課題を設定し、この課題解決に向けて意欲的に取り組む（PBL）。

●学習内容(授業概要)

社会福祉の本質に関わるテーマについて避けることができない重要な文献を読みながら、各論者がどのようにそのテーマに応えようとしてきたのかを解きほぐすことにする。

それは、近年の社会福祉はめまぐるしく変化しているからこそ、社会福祉の本質的な課題が改めて問い直されているからである。したがって、前期は資料の輪読と討論が中心となり、後期は学生たちの問題関心に即した報告と討論が中心となる。

このように、社会福祉の本質の理解を深めるとともに、学生各自の研究テーマに沿った研究を深めてゆき、各自の研究テーマの発表と、ゼミの中で討論によって、各自の研究力を育ててゆく。

●学習内容(授業計画)

≪前期≫

1. 各自の研究テーマについて
2. リッチモンド『貧しい人々への友愛訪問』
3. リッチモンド『社会的診断論』
4. リッチモンド「ケースワーカーとクライアント」
5. ロビンソン『ケースワーク —心理学の変遷』
6. アプテカー『機能主義ケースワーク入門』
7. レイノルズ「クライアントとコミュニティの間で」
8. ハミルトン『ケースワークの理論と実際』
9. ホリス『ケースワーク —社会心理療法』
10. バイスティック「ケースワークの関係の分析」
11. バイスティック『ケースワークの原則』
12. パールマン『ソーシャル・ケースワーク —問題解決の過程』
13. パールマン『関係 —援助者の心』
14. ブライアー「窮地に立つケースワーク」
15. テーマ研究の振り返りと夏休みの計画

●準備学習・事後学習の内容

毎回の授業のテーマごとに、自分の意見をまとめておく。授業後は、個人もしくはチームのテーマについて調べる。

●成績評価方法・基準

グループワーク 50%、プレゼンテーション、ディベート・討論 50%

●テキスト（必携）

≪No.1.≫書籍名：『資料で読み解く社会福祉』、著者名：岩崎晋也 他、出版社：有斐閣、備考：3年次で使用したテキストを継続して使用

●参考文献／その他

授業時に指示。

●履修上の注意

見学や合宿なども行う予定です。